

介護老人保健施設

ほのぼの苑

だより

発行所
〒018-1401
南秋田郡昭和町大久保字街道下92-1
医療法人 正和会
介護老人保健施設
ほのぼの苑
TEL (018) 877-7115
FAX (018) 877-7481
ホームページ
<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp>
編集責任者 加藤稔樹
発行責任者 小玉敏央



5 月 誕 生 会

ほのぼの苑だより第四号を発刊するにあたり今月の紙面を飾っている写真の様子を伝えながら書いていきたいと思います。

掲載されている写真は五月三十日に行われた誕生会の様子です。小玉施設長以下、職員、入苑者、ご家族が見守る中、司会者の一ノ関光也さん進行のもと始まりました。壇上にて誕生者を紹介し、小玉施設長よりプレゼント贈呈、挨拶を頂きました。誕生者の若い時の写真を紹介し、若い時の颯爽とした姿を紹介する事が出来ましたし、なかには娘の結婚式の模様が写された、涙ぐむ誕生者もおりました。ご家族も若いときの様子を語ってくれた方もおり、いつもとは違う趣向で誕生会が進んでいきました。

途中、休憩をはさみ、介護職員の岡部智美さん率いる武産塾合気道修練道場・秋田大学合気道部の皆さんによる演武が行われました。合気道とはどういうものなのか私自身分らず興味深く静粛のもと始めました。入苑者も真剣に演武者のひとつひとつの技をみて拍手を送りました。いつもは介護職員として接している岡部さんの合気道をしている姿にびっくりした入苑者もおりました。見事な技を披露し、入苑者を楽しませてくれた道場の皆さんにこの場をかりてお礼を申し上げます。

今回の誕生会を通して我々職員は、入苑者と家族を繋ぐ掛け橋になる事を考え、その場を提供していかなければならないことを痛感しました。

大潟村の黄色い道

青い空、白い雲、薄赤色の八重桜、そして黄色の菜の花が車窓に映る見事な色彩に歓声があがる。春風につけて花の香りが車内に漂う。

「私の家にも八重桜があつてね」と誰かが言い、負けじと「私の家は枝垂れ桜だもの」と桜の話で盛り上がり、車内が笑顔で一杯になるのは花の力の所為かも。

「子供の頃に見た桜は・・・」私の生まれた家には花畑があつて・・・ここまで来るともう思い出の自慢大会。そういえば故郷を想うフーテンの寅さんの自慢は妹の「さくら」だったなあ。

日の光を浴び、自然に触れ、友と語り合う情緒豊かな時を過ごせたすばらしい一日でした。



菖蒲湯

菖蒲には、多くの精油成分が含まれ、浴用にするると独特の芳香を放ち、鎮痛・血行促進・保湿の効果があり、特に葉より根茎部分の効果が高いそうです。当苑でも端午の節句には葉、根茎と浴用に使用し、利用者に大変好評でした。



八郎湖近くに生い茂っています



浴槽に束ねて入れます



ほのぼ農園だより

ジャンボかぼちゃ物語 I

ほのぼ農園で新たな試みが始まりました。「ジャンボかぼちゃを育てよう」の提案でアトランディックジャイアントという種類の種子を購入、6月4日に苗床を行い、現在は順調に成長中です。9月の大潟村で行われるジャンボかぼちゃ大会参加を目指して頑張ります。成長記は皆さんにお知らせしていきますのでお楽しみに！



ジャンボカボチャの種子 16.6.4
種子の大きさは約2cmです



これからどの位大きくなるのでしょうか

6月の誕生会・行事のご案内

6月の誕生会は、20日午後2時より食堂にて行います。先月の誕生会のように誕生日を迎えられる入苑・通苑の方々の写真をスクリーンへ映し、ご紹介致します。また前回好評でした「なまはげ太鼓」の方々が来苑、大迫力の囃子を奏します。

今月はさらに27日に「ほのぼの苑大運動会」を当苑駐車場にて行います。苑外で生き活きと運動している姿を是非ご覧になってください。

皆様のご参加お待ちしております。

6月行事担当職員一同

今月のほおろオ

「今月のほおろオ」とは介護する上でのアドバイスや知識を、本人はもちろんのこと、ご家族の方にお知らせするコーナーです。

嚥下障害

言語聴覚士 奥山香里

△はじめに▽

今回は嚥下（えんげ）障害についてお話します。聞きなれなくて難しい言葉と思いますが、「嚥下」とは簡単に言えば食べ物を飲み込む動作のことです。つまり「嚥下障害」とは「食べ物が飲み込めなくなる」といいます。当苑の入苑者の中にはこの問題がある為に口から食事がうまく食べられないという方がたくさんいらっしゃいます。

△嚥下障害の原因▽

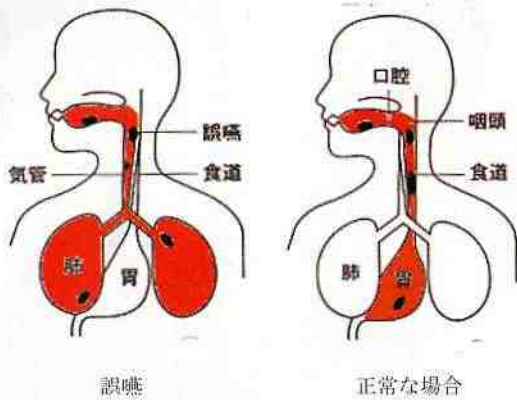
① 歯の問題

歯を使って噛む（咀嚼）しやく」という事は食べる時に非常に重要な役割があります。噛むと唾液がどんどん分泌され、その唾液と食べ物とが混ざり合って無意識に飲み込みやすい状態になっています。食べ物をそのまま飲み込むという事は難しく、のどに詰まらせる（窒息）ちっそく」という危険がたいへん大きくなります。当苑でも義歯さえしつかりあれば普通の食事が食べられるのに、歯がない為に刻んだお

ずを食べている方も少なくありません。

② 脳卒中の後遺症

嚥下の動作は非常に複雑な脳の働きのもとで整然と行われています。脳卒中の後遺症によりこの脳の働きがうまくいかないと、舌がうまく動かず食べ物がいづまでもたつても口の中に残っていたり、食べ物が本来行くべき食道ではなく気管の方に入ってしまう（誤嚥）という事が起きてしまいます。一番誤嚥しやすいのは水分です。水分はサラサラしていてまとまりがなく、のどに落ちる速度が早いので気管に入り誤嚥しやすいとされています。高齢者では脳卒中の経験がなくとも、加齢により脳の働きが低下し嚥下障害を引き起こしている場合があるので注意が必要です。



△対処方法▽

① 評価・訓練

我々言語聴覚士は主に口の動きや飲み

込む動作に対しての評価・訓練を行います。代表的なものにアイスマッサージや嚥下体操があります。

② 食形態の工夫

歯に問題がある場合は、食べ物を食べやすい状態に調整したり、ミキサーにかけます。市販のゼリーやプリン、ヨーグルト、ベビーフードも嚥下しやすい食品です。で利用できます。水分をよくむせるという方にはのどに落ちる速度を和らげる目的でとろみが利用されます。とろみは片栗粉でつけられますが、片栗粉は時間と共にとろみがゆるくなってしまおうという欠点があります。そこで、時間がたつてもとろみが変わらない「増粘剤」を利用する場合があります。

△おわりに▽

昔は口から食べられなくなると死に直結しましたが、今は医療の進歩により「経管栄養」という方法で食べられなくなっても生き続けることが可能となりました。しかし、鼻から管を入れてそこから栄養をとって生きていくより、経口摂取の方が幸せなはず。『食べる』というのは動物の本能的な欲求です。当苑でも「口から食べたい。」「食べさせてあげたい。」という方にはその想いを少しでも叶えてあげられるようなお手伝いが出来ればと考えています。

次回は、最近よく聞くカタカナの用語や横文字について説明いたします。

朝礼スピーチ賞とは、朝礼で職員の中で最も感動したスピーチを表彰するものです。今月は作業療法士の小玉 鮎人が受賞し、尾が進呈されました。小玉 鮎人さんおめでとうございます。

ほのぼの苑 朝礼スピーチ賞

作業療法士

小玉 鮎人

私は3月まで埼玉の学校に通い、そこで実習も関東の病院でお世話になりました。そのとき患者さんの中に秋田県出身のおばあさんがいて私のほうから秋田弁で話しかけると、その患者さんは「秋田弁で話すのはほんと久しぶりでうれしい。」と言って喜んでくれる様子でした。それからその患者さんから話しかけてくることも多くなり、自分自身実習で辛く、落ち着いて話せる二時でした。

私が働いてもう少しで2ヶ月が経ちますが、職員の方々と利用者さんの秋田弁で話している様子を見て、とても穏やかで自然な雰囲気を感じます。まだまだ私は方言について知らないことも多いため、利用者さんと接する中で利用者さんの方が教わつていき、暖かみのある会話で、利用者さんとの距離を縮めていけたらと思います。

ボランティア・慰問・奇贈（平成16年4月～5月）

- ・ 湊 媛香ちゃん、澤木 誠弥君（写真 左）
- ・ 栗山 金子様（門間トエさんのご家族）よりタケノコ奇贈（写真 中）
- ・ 武産塾合気道修練道場・秋田大学合気道部（写真 右）



新人職員の紹介



- ①「名前」小林 夏子
- ②「部署」デイケア科 介護
- ③「趣味」食（食べる）こと、絵を描くこと、唄うこと

④「自己アピール」抱負」まだまだ不十分なところが多いですが、自分らしく皆さんに慕われる介護を目指して頑張りたいと思います。



- ①「名前」小玉 純悦
- ②「部署」デイケア科 介護
- ③「趣味」サッカー

④「自己アピール」抱負」初心を忘れることなく頑張りたい。よろしくお願ひします。

職員異動

五十嵐記念病院への異動

デイケア科長

佐藤 とき子

デイケア科介護

細谷 一彦

鈴木 明義

ほのぼの掲示板

お部屋の大移動のお知らせ

七月七日（朝）入苑されている皆様へより一層のサービス充実と快適な生活空間造りを考えてのお部屋の大移動を実施致します。移動後には、専用の洗濯物入れとベント近くへご連絡用ゴルフボードを設置致しますので、ご活用下さい。

ご家族の皆様のご理解をお願い致します。ご不明な点がございましたら、石川・小野までお問い合わせ下さい。

デイケア直通電話

デイケアルームに直通電話を設置致しました。

今までは事務を通してからの連絡方法しかありませんでしたが、直接デイケアのスタッフが電話を取り、応対致しますので、ご活用下さい。

今後もより良いサービスを心懸けて参りますので、よろしくお願ひ致します。

直通電話番号

018-877-7315



幸福

皆さんは、ペットを飼っていますか？ 私は仕事から帰り、猫を抱っこし、安心しきった猫が喉をゴロゴロ鳴らす姿で癒されます。

先日私の家で飼っている猫が赤ちゃんを産みました。子供たちは大喜び。反面私は、五匹の子猫を育てるのも大変。ご飯を食べさせるのも大変。家の中が散らかるのも大変。と色々考えさせられました。昔、私が小学生の頃、拾って育てていた猫が、子猫をたくさん産んだ記憶があります。その時は、私が学校に行っている間にもう亡くなった祖母がどこかに捨ててきたそうです。祖母の行動は皆に自然に認められていました。家族の色々な役割があったのでしょうか。

時代が変わり、捨て猫、捨て犬も見かけなくなりました。ペットへの虐待も問題になっている現代に生きる者として、私はどのように決断すれば良いのでしょうか。再び祖母のことを思い出します。今日この頃です。

追伸、二匹までは里親が決まりました。

編集後記

五月二十七日朝、ほのぼの苑の職員の対応に関して苦情の電話がありました。

当苑では真摯に受け止め、朝礼の場で苦情があったことを発表し、職員の対応と言葉遣いについて改善すべき点を事務室前の掲示板に掲示、回覧板を作成し、全職員で話し合いました。

以後このようなことが起こらないよう注意致します。

職員の対応や言葉遣いでお気づきの点、改善すべき点がございましたら、正和会サービス向上委員会へお知らせ下さい。

サービス向上委員会 018-877-7148

(カ)